



# M.M.Honcho Newsletter

【11月号】令和5年10月30日発行

▼WEB PAGE



▼e-mail



## ESDの秋本番

校長 小正 和彦

早いもので本年度も後期に入りました。この学年の様々な活動が本格化し、充実していく時期となります。ESD/SDGs活動についても、中間報告会となる11/18(土)の『『みな』と『みらい』を語る会』へ向けて、どの学年も一層活動が深まっています。これまでも、各学級・学年で自分たちで設定したテーマについて、いろいろな企業、施設、NPOや市民団体等と協働的な取組を積み重ねてきています。これらの活動は、支援をする・支援を受けるという方向の関係ではなく、企業や施設等にとってもSDGs活動の一環であり、発信の機会となっており、双方にとって持続可能な社会の実現という目標に向けた文字通り協働的な取組となっています。

昨年度、今年度と、更に横浜市の様々な部局からのオファーが増えています。国からSDGs未来都市として指定を受けている本市ですが、その中心であるみなとみらいにある学校であるということだけではなく、開校以来の取組に加え、ユネスコスクールへの加盟など、グローバルな視点でESD/SDGsに全校で取り組んできていることへの評価でもあり、子どもたちと一緒に本市のよりよい未来創りに貢献できることを嬉しく思います。国際局とは、昨年に引き続きSDGsをテーマにモンゴルのウランバートルの学校との交流を進めており、今月パシフィック横浜で開催されるアジアスマートシティ会議で校歌

「いろとりどりの未来」を6年生が紹介する予定です。環境創造局とは、横浜市環境政策へ子どもたちの意見やアイデアを反映させることを目的に、河川上流域、中流域、河口域(本校)の学校との共同プロジェクトに5年生が参加しています。また、政策局からは、6月の「子どもたちによるYOKOHAMAの明日をひらくワークショップ」に続き、横浜市庁舎などを会場に開催される「ヨコラボ」への参加の提案があり、11/1、2の「ハマッコラボ」に学習室の「がんばれモンプロジェクト」と5年2組、さらに5年2組は11/4にパシフィック横浜アネックスホールで開催される「よこはまの未来の作戦会議」に参加します。

11/18(土)の『『みな』と『みらい』を語る会』では、すべてのクラスで参観の皆様へのこれまでの活動の発表や、ご参加いただいた方との意見交換があります。そして、そこでのフィードバックをその先の活動に生かしていきます。保護者の皆様、関係者の皆様には、お声かけ、価値づけ等ご協力をよろしくお願いいたします。

先日、みなとみらいロータリークラブに仲立ちいただき、みなとみらいにお住いの書家の吉田博(ひろみ)様から、本校に書をご寄贈いただきました。宮沢賢治の『雨ニモマケズ』。またひとつ本校に宝物が増えました。中央昇降口の左手に設置しましたので、ご来校の際には是非ご覧ください。

### 《専任より》

### 家族で話し合ってみよう! スマホ・ネット・ゲームとのつき合い方



10月6日には4年生(NPO情報セキュリティフォーラム事務局)、10月11日には6年生(戸部警察署)に、外部講師をお招きして携帯やネットの使い方についてお話ししていただきました。

携帯やインターネットは、便利だけれども正しい使い方をしないと危ないことを学びました。これまでの生活を振り返りながら、これからの使い方について考えました。

スマホやインターネット、ゲーム等、現代はSNSを通じてのコミュニケーションもたくさんあります。生まれながらにインターネットがある社会で生活している子どもたち。このような社会で、子どもは安心して生活し、心身ともに健やかに育ち、社会の一員として参画していかなければなりません。

子どもが安心して、様々な経験を積み重ねていくには、わたしたち大人の見守りが必要不可欠です。学校では、定期的に情報モラルについて話しています。ご家庭でも繰り返し約束の確認をするなど、ぜひ話し合ってみてください。

児童支援専任 赤津 淳子